



十日町市
Tokamachi
ぎかい
だより

令和元年5月10日発行

市議会・市に期待すること
60

60号だから
思いきって60人に
聞いてみました！
市議会・市に
期待すること60☆

CONTENTS

【特集】市議会・市に期待すること	2-5P
予算審査特別委員会 委員長報告	6P
新年度予算に対する討論	7P
一般質問	8-11P
政務活動費って何に使っているのかな？	12P
議案の審議結果	12-13P
議会をPick-UP! 3月定例会	14P

安心・安全なまちづくり

防災や大雪施策の充実、インフラの整備、地域医療や子育て支援の充実、市民の皆さんが安心して暮らせる十日町市を目指します。

山口 博永さん(仁田)



市民の皆さまが希望を持って
安心に暮らせるまちづくりを
期待します。



吉田 三男さん
(北新田第3)

今日の秋晴れの
青空のように、
平和で健やかに
過ごしたいものです。



大津 淳一さん(千歳町1丁目)

内後城之古線は冬場は
小学生が車道を通学して
います。歩道の増設を
要望します！



小海 洋美さん
(寺尾)

緑いっぱい自然の中で、
子どもたちが遊ぶ様子を
こっそり眺めています。
安心して子育てできるこの
土地に感謝しています。

交差点に積もった雪壁は、
歩行者も運転者も
見えづらく大変危険です。
排雪してください。



岡村 和行さん(高田町3丁目)

『子どもたちが安全・安心に
過せるまちづくり』と
『移住支援』に力を入れて
いただきたい。



水落 正起さん(桑原)



中西 武博さん(高原田)

民生委員にもっと光を、
次の民生委員になって
くれる人のためにも。



小嶋 昇さん(平)

指定避難所の
耐震化を
願います。



佐藤 正行さん(千代田町)

本町西線の駅西出入口は
横断歩道が長く、
歩行者が横断できない。
早期の信号機を設置を！



左: 野上 正一さん(美咲町)

家族に感謝！
仲間感謝！
地域に感謝！

年寄りに
安心安全なまちを。
議会に期待しています。



丸山 康一さん
(原田)

十日町病院の設備(システム)
を考えてほしいです。
朝から並んでも昼まで診察
がかかるからです。



小宮山 心一郎さん
(渡野)



市川 優さん(松代)

除雪事業の充実と
雪による災害や事故を
なくす取組みをもっと
やってほしい。



小堺 正利さん(儀明)

山間地農業と豪雪地対策、
安心して暮らせるように
地域を守ってほしい。



草村 秋子さん(黒倉)

今年は雪が少なくて助かり
ました。①除雪直後の凍結
防止剤散布、②舗装路面の
修繕を早くしてもらいたい。

これからもここで住み続ける

雪国での暮らしもずいぶん便利になり、移住してくれる方々もいます。地域でご近所でご家族で、助け合う十日町市でありたい。



板場 照美さん(安養寺)

国民健康保険の未使用者には、保険料を還元するなどのインセンティブを付与してほしい。



草村 あや子さん(黒倉)

大雪になると困ります。地域が高齢化して、何をするにも大変です。安心と元氣が出るように願います。



高野 裕子さん(水沢第2)

介護離職をなくすため、介護をする人へのサポートの充実をお願いします。



久保田 達也さん(浦田)

米そのものの単(反)収評価が非常に不利に感じている。より正確な標準化にならないものか。

働く母が、もっと働きやすいまちなればと思っています。



左: 大久保 智江さん(野口)



茂野 美知子さん(中屋敷)

孫の先生並びに近所の方、地域の皆さまに孫を育んでいただいていることに感謝。



石塚 正明さん(浦田)

今年から除雪券をもらい大変助かりました。安心して暮らせる支援を望みます。

高津 富士雄さん(寺ヶ崎)



農業振興策の充実を図るために、手厚い施策を期待しています。

富井 紀一さん(馬場第1)



老若男女、実直な市民が、明るく楽しく生活できる、そんな市政運営を願います。



水落 翔太さん(漣野)

老若男女を問わず、体を動かす施設を充実させてもらいたいです。

以前、午前の運行があったと思いますが、妻有ショッピンセンター通りのバス運行があれば助かります。川西・十日町間も。



桑原 健二さん(中島町)



山口 孝治さん(浦田)

農業をやってもなかなか食べていくには大変です。所得補償が必要です。



高橋 愛さん(南新田町2丁目)

出産前後は出費がかさみ大変！1か月児検診の無料化をお願いします。

矢口 好美さん(稲荷町2丁目)



除排雪援助については女性だけの世帯や低所得世帯など、もっと拡充をお願いします。



太田 恭司さん(馬場第3)

社会的弱者に対して、ライフラインである電気、ガス、水道料金の補助または無償化を！

さらに前へ住みよいまちづくり

新市誕生から14年、市民の力でつくり出す、心触れ合うまちづくりに取り組みます。

田中 田鶴子さん(仁田)



女性にやさしいまちづくりを。若手夫婦が安心して帰って来られる故郷にしたい。



根津 正良さん
(西本町2丁目)

雪まつりを西小学校で！周辺には博物館、情報館、総合体育館もあり
十日町市をPRできます！

町内には消雪パイプも流雪溝もあります。どちらか設置してもらえませんか？



西野 孝一さん
(高田町3丁目西)

これから人と人が、気軽に挨拶し、助け合いができる地域になりたいです。



高橋 幸愛さん(坪山)

市外のファミリーも集客できるような魅力的な屋外公園の設置を希望します。



左: 佐藤 けい子さん(神社町)

「醸す森」という場所を拠点に地域活性化に貢献していきたいです。産業と観光に力を入れてください。



小野塚 悠也さん
(松之山)



高橋 弘朋さん(大荒戸)

農業機械がバンバン売れる農政へ、期待します。



江口 篤さん(西本町2丁目)

渋滞緩和のため、本町西線の越後交通さん側に右折専用レーンを設けてほしい。



江口 憲一さん(小白倉)

中山間地を忘れずに振興策を考えてほしい！

「分じろう」をたくさん利用しますが、机も椅子も重くて困っています。(みんなのてごうにいかない)



阿部 知子さん
(高田町2丁目)

十日町病院隣接の町内は騒音振動など我慢ばかり。市長、周辺整備の件はどうなりますか？



永井 昌弘さん(高田町3丁目南)

商工観光の人たちが頑張ることが地域住民の支えになります。



高橋 主計さん
(天水島)



横山 仁志さん(黒倉)

中山間地農業に次世代の若者と呼んでもらいたい。



渡貫 和夫さん
(新町新田)

若者、後継ぎが故郷十日町に帰って来られるよう期待します。



藤巻 和人さん(仁田)

景気を良くしてほしい。若者が働きやすいまちづくりを。

未来に向かって希望の持てるまち

子どもたち、若者が夢と希望を持って
住み続けられる十日町市でありたい。



小杉 保三さん
(下条本町)

十日町の織物は日本の
伝統文化です。皆さん
で知恵を絞り、着物を
もっと広めましょう。



山口 蒼介さん(仁田)

がんばってね！
子どもにやさしいまちに
してね！



右:根津 明義さん
(稲荷町4丁目)

大地の芸術祭等で多くの
外国人が観光に来るので
主催で外国語講座を
開設してほしい。

稲荷町で宿をしており、外国人
のお客様にもっと喜んでもらえ
る十日町市になるよう、私も
お手伝いできたらと思います。
十日町の魅力を生かして！



大橋 世史子さん
(稲荷町4丁目)

安心して子育てできる
まち。
若い人たちが夢や希望
を持てるまち。



樋口 いずみさん
(北新田第3)

仕事をしながら、
スポーツも頑張って
います。



村越 裕太郎さん(野口)

高橋 亜希さん(下条栄町)



わが家の仕事をインスタで
発信すると反響があり、
十日町もどんどん発信した
らいいのにな。



高橋 暁さん(西本町3丁目)

今後の冬の市民生活
の維持には市町村を
またいだシステムづくり
が必要だと思っています。



五十嵐 博さん(野口)

元気な十日町にして
ほしい！
若い人が戻って来て
くれるまちに。

地域のスポーツクラブの
育成・推進のための環境
整備をお願いします。



渡辺 芳広さん
(学校町2丁目)

開催ごとに来場者数が
伸びている大地の芸術祭。
今後も集客率確保を
期待しています。



樋口 正彦さん(八幡田町)

市街地は箱物はできた
けれど、これからどう
すればいいのかな？！



村山 トミ子さん
(本町3丁目)



児玉 尚さん(学校町)

「微力だが無力ではない」
一人一人のできることを
結集し、十日町に
明るい灯を。



村山 宏美さん
(下条中央通り)

子どもが遊べる屋内施設ができ
たら嬉しく思います。将来的には
子どもたちが安心して働ける
十日町になってほしいです。

十日町の誇る農産物を
世界に売り出して！
中里地域に流雪溝を
整備して！



丸山 武士さん(田中)

予算審査特別委員会委員長報告

議会でも厳しくチェック

予算審査特別委員会に付託された議案第33号十日町市一般会計予算、議案第34号十日町市国民健康保険特別会計予算から議案第40号十日町市松之山温泉配湯事業特別会計までの8件、及び議案第41号十日町市水道事業会計予算と合わせて9件については、いずれも原案可決であります。

予算審査の過程での意見、要望について何点が申し上げますので、市長並びに行政当局におかれましては、市政運営に反映されますよう、強く要望するものであります。

一般会計

【歳入】

普通交付税の合併算定替による加算額の段階的縮減が進む状況下において、「とおかまち応援寄附金」や「企業版ふるさと納税」などの制度の活用や促進、遊休施設等の売却などを進め、財源確保に一層取り組んでいきたい。

【歳出】

●3款 民生費

民生委員活動事業について、求められる労力や担当地域の広さ、責任の重要性等を勘案し、民生委員・児童委員の待遇改善や事務委託料の増額を要望する意見が多数ありました。また、研修の実施や事例の共有などにより、各委員の熟度や考え方などに可能な限り相違が生じないよう、十日町市独自の体制を求める意見も多くありました。

●4款 衛生費

公的病院運営費補助事業について、中条第二病院と精神医療確保に関する意見が複数ありました。精神病

●7款 商工費

冬季誘客イベント助成事業は、十日町雪まつり補助金を改名した事業であるが、雪まつりは十日町市を代表する魅力であるこ

とから、事業の実施に当たっては広く市民の意見を聞きながら、合意形成に努めていただきたい。

●10款 教育費

社会教育、公民館活動の見直しについては、公民館の70年間の活動を振り返りながら、多くの市民の声を反映させていきたい。また、地域自治組織や各種団体、サークル等では、公民館事業に類するような活動もされていることを鑑み、「今の時代に即した公民館事業や体制とはどうあるべきか」という観点について、「変えるべきもの」と「変えてはならないもの」を見極めながら、今後の検討を進めていただきたい。

情報館は、空調設備の改修費用が計上されているが、施設の閉館時刻を早めることも提案された。閉館を早める理由として、夜間利用者の減少や近隣類似施設の利用が可能なが挙げられているが、そもそも利用者を増やすためのPRは十分になされていないのか。ホームページを見ても集会施設を借りる側の視点で作られていない。近隣類似施設の利用を促す以前に、情報館設立の趣旨を鑑み、その利用促進に力を入れていただきたい。

最後に、予算審査特別委員会設置以来、熱心に審議いただきました各委員の皆さま、そして行政職員各位のご協力に感謝申し上げます。

国民健康保険 特別会計予算

税率の据え置きや高い収納率を評価する意見や、さらなる収納率の向上を求める意見がありました。

介護保険 特別会計予算

介護予防事業が効果あるものとなるように、必要とされる高齢者への情報の周知、徹底を望む意見がありました。民間の活力で「地域のお茶の間」の拡大、充実が図れるような適切な施策の推進を求める意見がありました。

簡易水道事業 特別会計予算

統合できる簡水地区は統合を図り、施設を集約し、維持管理経費の縮減に努め、持続可能な簡易水道事業としていただきたい。

最後に、予算審査特別委員会設置以来、熱心に審議いただき



予算審査特別委員会
委員長 遠田延雄 議員

新年度予算に対する討論

賛成

英知を尽くした市政を 評価

高橋 俊一 議員



新年度予算編成の過程で、昨年12月に各課等で検討している「主な事業の要求概要」が示され、一部事業を除いた一般会計が30年度比で27億円、7.5%減となっていました。これに対して議員や各会派、さらには市民各位から多くの意見が出されたとあります。最終的な新年度予算は、一般会計は、前年度対比10億円、2.8%の減。特別会

計予算を合わせた総額は538億370万円、前年度対比9億2千50万円、1.7%減です。「人にやさしいまちづくり」新築される「水沢保育園」や、未満児保育施設の「しらうめ保育園」は待ち望まれたハード事業であり、市単独の不妊治療費の助成や、出産から子育てに関するさまざまな支援は県内でもトップクラスにあります。また、小学校で英語教育推進チームが立ち上がり、市の教育相談センターを新設するなど、小中学生や家族にとって大変助かる事業と言えます。評価します。

「活力ある元気なまちづくり」大蔵寺高原キャンプ場での冬季限定の豪雪体感インバウンド事業や、清田山キャンプ場の大規模施設整備事業が、アウトドア観光の大きな魅力になることを期待します。また、中山間地の農業者個人に対し農産物加工処理施設の整備費を支援する地域資源型ビジネス促進事業が始まり、さらに一般企業に勤める移住者への補助など、移り住む力と住み継ぐ力を引き寄せる事業に期待しているところです。

「安心安全なまちづくり」支所地域ごとの戸別受信機
の無料の配布等で、市民の防災への状況が大きく広がります。また、新たに始まるバイオマス活用推進事業による「キナーレ明石の湯」への熱電併給システムの導入や、使用済み紙おむつをゴミ焼却熱を利用してペレット燃料を製造する事業は、確実な完成が待たれます。

「英知を尽くした市政を評価」

望む部分も多々ありますが、より厳しくなる財政運営の中で、真の新十日町市に向けての事業の形成に英知を尽くして対応されたことに心より感謝し、私の賛成討論といたします。

反対

これでは暮らしは守れない

鈴木和雄 議員



新年度一般会計予算は352億円、前年比10億円の減。その内容は、要援護世帯除排雪援助事業は1千万円の削減、紙おむつ等購入費支給事業は880万円の削減、住宅リフォームや克雪住宅などへの支援事業は2千400万円の削減など市民の暮らしを支援する事業が5千100万円も削減され、さらに市民が交流する公民館などの施

設関係経費は3千500万円を削減する上、学校給食費1千80万円の負担増など許せません。市長は身の丈予算と言いますが、大型公共事業、箱物建設や大地の芸術祭に巨額の資金を次々と注ぎ込んだことを検証すべきです。そこでいくつかの指摘事項と要望です。

①国保会計について

今年度税率を据え置きました。平均所得に占める国保税の割合は18.4%にも及び、高くて払えきれない状況は少しも変わっていません。収納率維持のために収納の強化や差押えがあっ

てはなりません。

②学校統合について

学区の再編で地域から学校をなくし関わりを希薄化して、ふるさとを愛する感情が育まれるのか。今、学校が抱えている課題に込める道は、教職員を増やし多忙化の解消に取り組み、予算を増額することです。

③精神医療について

山間豪雪地に必要な精神医療を守るために、県の責任を明確にし、精神病床の存続を強く要望していただきたい。

④高齢者福祉について

後期高齢者医療は軽減措置の

継続を求めます。介護保険について、今回の軽減措置は限られており7割は依然として重い負担。改善を求めます。

⑤農業と地域産業の振興について

J Aや農業再生協議会など関係機関の中で中山間地農業をテーマにした協議を強めること。地域産業の振興については地域内の農産物をはじめとした資源の循環や、エネルギーの地産地消で新しい産業構造を構築していただきたい。



成人式について 中学校の再編について

星名大輔 議員

質問 成人年齢が18歳になっても、成人式は20歳を対象に継続するべきだ。Uターン促進のために会社説明会を合わせて実施できないか。

答弁 国の情報を注視し、関係者のご意見や他自治体の動向などを参考に検討を進めますが、織物産地の市長としては、今までどおり20歳での式典が望ましいのではないかと思います。採用意欲をお持ちの企業等の意見を伺いながら、成人式に合わせた会社説明会や情報提供について検討したいと思っています。

質問 まつのやま学園だけが再編後も適正な規模に至らない理由は。適正な規模で学ばないと得られない教育効果を補う取組みを行い、松之山地域の子どもの教育を市全体で支えるべきだ。

答弁 学区適正化検討委員会では、開校したばかりであることや全市を対象学区としていくこと、また地理的条件に配慮していることから、当面はこのままという考えが示されています。

学園発足時に小規模校のままではいけないという中で、何らかの検討をお願いしました。旧松之山町は山村留学で、都会の子どもたちの学ぶ場を提供していた経過がありますので、自然豊

かな中で学ぶという取組みについて改めて検討いただきたいという話もしています。第2次方針ではこのままのままでいろんなチャレンジをしていただきたいと考えています。

質問 川西中の再編目標年度は他の中学校よりも遅いので、地元のPTAや市議会議員などを含めた「川西中を考える会」を組織して検討しないか。

答弁 地域の皆さんで検討いただけることは大変ありがたいと思います。旧町村の境界を越えた統合をしてきた経緯がありますので、先人の歴史に倣い、乗り越えながら、地域の皆さんから検討いただきたいと思っています。

●学区適正化検討委員会で示された中学校の再編案

- ・南 中 = 吉田中 = 松代中
- ・中条中 = 下条中 = 川西中
- ・水沢中 = 中里中

これにより適正な規模を目指している。
まつのやま学園は適正な規模に至らないが再編の例外とされている。

(作成：星名大輔議員)



新たな農業支援策 騒音対策について

小林正夫 議員

質問 小規模農家の支援について稲作専用の農機具にこだわらず畑作など多品目の生産に使える機械器具や農業者の求めに応じた支援や省力化、中山間地にも対応可能な農業用マルチコプター・ドローンの導入は図れないか。

答弁 現在、複合営農促進事業で指定する園芸作物の生産に必要な機械整備に対する支援を行っています。新年度には、新規事業として、これまで行っていないかった認定農業者個人の機械整備を支援する認定農業者パワーアップ事業を予定しています。本事業では、農業用マルチコプター・ドローンも対象としており、スマート農業の普及を図ります。

また、6次産業化支援事業では、農作物を加工した新商品等の開発に対する支援を行っており、事業の活用で多角的な農業経営が展開されることを期待しています。

質問 冬期間の除排雪作業で、安全面に配慮し怪我や事故を未然に防ぐため、早朝や夜間作業などに

おいて隣接する方に迷惑のないように、個人使用の機械作業の始動時刻やルールを定めて騒音防止対策は図れないか。

答弁 早朝や深夜の時間帯に除雪が必要となる勤務形態や生活実態があることから、行政が規制をかけることは適切ではないと考えます。安全対策や事故防止の徹底と併せ、除雪時間帯への積極的に行う考えです。同じ雪国に暮らす者として、お互いさまの精神で互いに理解し合うことができれば、それが最も理想的なものと思います。住宅の密集度や生活スタイルなど、その地域の実情に応じて、地域集落でルールづくりなどをしていただくことがより有効ではないかと考えています。



ドローンによる実演（上野地内）



具体的な「稼げる農業」の振興策は 学校給食費の無償化を望む

小野嶋哲雄 議員

質問 T P P I I が発効され、条件不利地の当市の農業は国策のコスト削減、規模拡大、I O T 農業導入等での生産性の向上が不可能な状況です。

生き残りには地域ごとに複合経営拠点の整備と小規模多品種農業振興など「稼げる農業」の育成が求められますがお考えは。

答弁 有機栽培等による高付加価値化や流通販路の拡大が肝要と考え、有機農業支援事業に取り組んでいます。

米だけでなく、ニンジンやアスパラなど園芸作物との複合営農の推進、地元酒造会社と連携した高品質な酒米生産、年間を通して農業で働くための冬季アグリビジネスの支援、6次産業化を支援することで、農業者所得の向上につなげたいと考えています。

これらの一連の取組みによって、所得を上げ、生産意欲の向上を図っていくことが、生きがいとしての農業につながるものと考えています。

質問 負担の軽減、子育て支援・少子化対策等として学校給食の無償化への考えは。無償化・一部補助実施自治体の現状、要・準要保護世帯の増加の状況と対策は。

答弁 要・準要保護世帯は年々増加し

ており、30年10月末現在で全体の児童生徒の約13%となっています。給食費を一旦収めていただいて、後ほど補填するという制度の中でやらせていただいています。

県内30市町村で無償化を実施している自治体はありませんが、新発田市、見附市で子ども3人以上世帯の3人目以降の給食費を無償とし、関川村では全児童生徒の給食費に対して、月額2千円を上限に助成しています。このほかに出雲崎町で米や牛乳、粟島浦村で牛乳と週2回の調理弁当の無償化が実施されています。

雪国の農耕文化を生かしたブランド戦略



ブランド戦略の構築で売上のアップを



中条第二病院・ 新年度予算を問う

藤巻 誠 議員

質問 中条第二病院の存続と魚沼圏域の精神医療について①魚沼圏域の現状と中条第二病院の必要性②病院存続に向けた現状とこれまでの動き、今後の対応③4月1日付けの職員の現状と今後の見通し

答弁 ①病床を有する精神病院は中条第二病院を含め4つです。それぞれ急性期や認知症に特化されているため、幅広い患者層を受け入れる中条第二病院は必要不可欠な病院だと認識しています。②厚生連の将来展望を受け、財政支援で病棟閉鎖回避の可能性も考えていることを知事に伝えました。現在県では、あらゆる可能性を探るとともに、集中的な検討に向けた準備が進められていると認識しており、当地域の精神医療体制の維持確保を強く求めていると考えています。③26人体制で診療所、訪問看護、リンクinひだまりについては、安定した運営を行うための体制としたと聞いています。

質問 新年度予算について①歳入の30年度決算見込みと今後3年間の見通し②社会教育、公民館、スポーツを通じたまちづくりについて③予算編成に当たり最も大事な理念の部分が抜け落ちていると危惧するがどうか。

答弁 ①特別交付税に対する期待値も含め約23.7億円、金額で17億円程度の増額を見込んでいます。32年度は前年度対比0.9%増、33年度は前年度対比0.5%減の見込みです。②学校、家庭、地域住民との連携協力体制を強化し、公民館としての役割を果たしたいと考えています。スポーツイベントの誘致、開催の推進により、地域活性化に結び付けたいと思います。③限られた財源を真に必要な住民ニーズに再配分すること、財源の減少のみに流されず、戦略的な経常経費の削減も重要な理念の一つと考えています。



病院から診療所へ（4月）



子どもたちの健やかな成長の 場づくりについて

鈴木和雄 議員

質問 学校教育法では学級規模を標準と定め適正規模と定めていません。なぜ基本とするのか。

答弁 国は小中学校とも12学級以上18学級以下を標準としています。当地域は豪雪や中山間地域という特殊事情もあり、県でも基準を少し下げ、6学級程度が望ましいとした考え方が示されています。学区適正化委員会では、国、県が示す基準等も勘案した中で考えていただいています。

質問 学校統合で普通交付税は減額になる。その影響額は。

答弁 交付税の基準財政需要額としての計算になりますが、30年度算定の単位費用は、小学校1校当たり947万9千円、中学校1校当たり869万1千円となっています。

質問 学校現場では教職員を増やして欲しい。教育予算の増額が願ひ。どう応えるのか。

答弁 学校数がある程度統合した中で、よりよい子どもたちの教育環境、人的資源、教員確保の面でも、子どもたちの前に立つ先生方を十分に確保したいと考えています。そういう諸課題が統合、再編により解消されると考えます。

質問 学校を地域からなくし調理施設

のセンター化で食育を矮小化し、学校利用等の制限で子どもたちの主体的な活動の場を狭めるやり方で、将来に希望を抱く子どもの育みができるのか。

答弁 ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもを育成するという目標に到達できるよう、これからも一生懸命邁進していききたいと思っています。その一つの手立てとして学区適正化、学校の再編というものを提案しています。新年度、方針確定後に各地域に入り、市民の皆さんにしっかりと説明して賛同いただけるよう頑張りたいと思います。

Ⅱ. 学級規模に関する研究(日本)

- 1 昭和30年代に広島大学、九州大学、名古屋大学において、少人数学級の方が有利との報告
- 2 上智大学加藤幸次氏の研究(平成2年)
 - ・学力テストの結果、有意差があるのは一部教科(体育、理科)のみ
 - ・児童生徒アンケートの結果、個別指導、学習環境は学級規模が小さい方がいいが、児童生徒の授業への意欲・興味、理解度、授業態度は殆ど差はない
 - ・授業観察の結果、少人数学級では一人学習の機会が多いが、児童生徒相互の活動等は少ない
- 3 国立教育研究所内チーム・ティーチング調査委員会(代表：高浦勝義)による研究(平成11年)
 - ・学力テストの結果、「T.T」の方が「1人教師による学級一斉授業」より成績向上に効果があることが認められた
 - ・さらに、「T.T」の中でも、学級を解体し、学年T.Tによる方が効果のあることが認められた
- 4 学級編制及び教職員配置等に関する調査研究報告(代表：高浦勝義)による研究(平成13年)
 - ・学級規模間の有意差は見られないが、20人以下の学級が他の規模よりも比較的高得点を示している
- 5 指導方法の工夫改善による教育効果に関する比較調査研究(代表：高浦勝義)(平成16年)
 - ・算数(数学)、英語という限られた教科・単元ではあるが、概して少人数指導が学力等の形成にとって効果的であることが認められる。
 - ・学級規模の縮小は指導方法の改善を伴ってこそ効果があるものと考えられる。

文部科学省「学級編成及び教職員定数に関する資料」
(作成：鈴木和雄議員)



中条第二病院の今年度末から 新年度の対応策について

樋口利明 議員

質問 中条第二病院存続のための、市長の最新所信と新年度の取組み体制と予算措置について伺います。

答弁 医療福祉総合センターのオープン、県立の看護専門学校、新たな訪問診療など、新しい事業を抱えながら、この中条第二病院、老健きたはらに向かわなければいけないということで、職員は大変な激務をこなしています。可能な限り対応する中で、この難局を乗り切っていきたいと思っています。市が支援する部分が生じれば、予算化させていただく可能性があると思います。

質問 この一年余りの住民による署名運動と関係機関への存続要請を活かすため、市長が呼びかけ人になって関係者・関心者を一堂に集めるなど、官民協働による病院存続策を見つけ出してほしい。

答弁 厚生連の役割は、本当に大きく、そういう中で向き合わなければいけないということ、大きな集会のようなことをやろうとは思っていません。今後状況が変わったり、今後のありようについて県と相談し、全県的な新しい精神医療の提供体制を県からつくっていただく中で、市の考えとかけ離れた

事態となれば、議員と一緒に頑張っていきたいと思っています。

質問 市民の安心と負担を減らせる化して、市民に選ばれた市長による市民への説明責任を全うしていただきたい。

答弁 県から新潟県の精神医療を考えると、こういうお話をいただいたことは非常にありがたいことです。3月31日には間に合わないと思いますが、クオリティの面では、今よりも安心できる精神医療をしっかりとこの地域の皆様に提供できるように形を県と厚生連と市でつくらなければならないと思います。



活かそう地域資源

政務活動費って何に使っているのかな？

市民の皆さんの関心の高い「政務活動費」。十日町市では、申請を行った会派に対し、会派所属議員一人当たり年額15万円が交付され、視察や研修会への参加、研修会開催などに使っています。

期間：平成30年4月～平成31年3月

会派名・所属議員	人数	交付額	支出合計	返還額
いしづえ 礎	5	750,000	750,000	0
小 林 弘 樹 福 崎 哲 也 富 井 高 志 宮 沢 幸 子 水 落 静 子	■調査研究費 717,485円 ・5/15～17 先進地視察 島根県海士町：行政政改革、移住促進 ・11/7～9 先進地視察 高知県梼原町：環境モデル都市 徳島県上勝町：葉っぱビジネス ほか ■研修費 32,515円 参加費 ・1/22 「日経地方創生フォーラム」 ・2/23 「老年問題セミナー 2019」			
自 由 の 風	5	750,000	710,619	39,381
藤 巻 誠 吉 村 重 敏 根 津 年 夫 山 口 康 司 庭 野 政 義	■調査研究費 603,201円 ・7/12～14 先進地視察 島根県邑南町：日本一の子育て村構想 ほか ・1/23～25 先進地視察 青森県八戸市：縄文文化財の保存と情報発信 岩手県久慈市：久慈市議会基本条例 ほか ■研修費 107,418円 ・11/14～15 全国市議会議長会研究フォーラム 「地域共生社会をどうつくるか」			
だ い ち	4	600,000	523,129	76,871
太 田 祐 子 小 林 正 夫 小 野 嶋 哲 雄 樋 口 利 明	■調査研究費 523,129円 ・12/3～5 先進地視察 沖縄県うるま市：アンリッシュ食品工業(株) 地方創 生交付金を活用した事業（急速冷凍加工） 沖縄県南城市（有）沖縄長生薬草本社 薬草の栽培・ 加工・販売の6次産業化の推進 ・2/25～27 先進地視察 東京都八丈町：地熱発電事業、地場産業（黄八丈織 物・くさや水産加工ほか）の振興策 ほか			
会派名・所属議員	人数	交付額	支出合計	返還額
さん し かい 三 矢 会	4	600,000	582,870	17,130
村 山 達 也 小 林 均 星 名 大 輔 鈴 木 一 郎	■調査研究費 540,960円 ・5/28～30 先進地視察 岐阜県大垣市：中心市街地活性化策 岐阜県大野町：クローズド型最終処分場 ほか ・10/22～24 先進地視察 香川県高松市：商店街の活性化策 ほか ■研修費 34,620円 ・5/10～11 「人生100年時代の地域デザイン」 ■資料購入費 7,290円			
日本共産党 十日町市議団	3	450,000	113,809	336,191
安 保 寿 隆 鈴 木 和 雄 滝 沢 繁	■研修費 25,751円 参加費 ・4/23 原子力発電所における現状と課題について ・11/5 介護保険学習会 ほか ■要請・陳情活動費 55,820円 ・9/18、12/26 新潟県 ・2/8 厚生労働省・環境省・原子力規制委員会 ■資料作成費 48,280円 ・コピー用紙、インク代 ほか ■資料購入費 11,700円			
さ く ら	3	450,000	450,000	0
遠 田 延 雄 高 橋 俊 一 大 嶋 由 紀 子	■調査研究費 438,394円 ・4/24～26 先進地視察 東京都渋谷区：LGBTについて（人権問題） 静岡県：里親制度 宮城県東松島市：森の学校プロジェクト ほか ・ほか2回 先進地視察 ■研修費 11,606円 参加費 ・10/22 「森と自然の育ちと学び自治体ネットワ ーク設立記念シンポジウム」			

3月定例会議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会 審査結果	採決状況	議決結果
市長 提出 議案	1 教育委員会委員（庭野三省氏）の任命	—	賛成多数 (投票)	同 意
	2 新潟県市町村総合事務組合規約の変更	—	全員賛成	原案可決
	3 十日町市発達支援センター条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	4 十日町市ほう賞基金条例を廃止する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	5 十日町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	6 十日町市宮越後湯沢駅前駐車場条例の一部を改正する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
	7 十日町市教育相談センター条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	9 十日町市体育施設条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	10 十日町市田代・清田山辺地総合整備計画の策定	産業建設	全員賛成	原案可決
	11 十日町市妻有焼陶芸センター条例を廃止する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	12 十日町市森林環境譲与税基金条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	13 十日町市十日町地域ニューにいがた里創プランステージ条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	14 指定管理者の指定の期間の変更について（十日町市大蔵寺牧場及び十日町市大蔵寺畜舎）	産業建設	全員賛成	原案可決
	15 十日町市儀明・寺田辺地総合整備計画の策定	産業建設	全員賛成	原案可決
	16 市道の認定（高山水沢線・塚下2号線）	産業建設	全員賛成	原案可決
	17 十日町市地区計画等の案の作成手続に関する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決

議案番号等	件名	付託委員会 審査結果	採決状況	議決結果
18	十日町市清津峡・土倉辺地総合整備計画の変更	産業建設	全員賛成	原案可決
19	十日町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
20	十日町市地域保育所条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
22	十日町市医療福祉総合センター条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
23	十日町市高齢者憩いの家条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
24	平成30年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	—	全員賛成	原案可決
25	平成30年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
26	平成30年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
27	平成30年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
28	平成30年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
29	平成30年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
30	平成30年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
31	平成30年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
32	平成30年度十日町市水道事業会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
33	平成31年度十日町市一般会計予算	予算審査特別	賛成多数	原案可決
34	平成31年度十日町市国民健康保険特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
35	平成31年度十日町市国民健康保険診療所特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
36	平成31年度十日町市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別	賛成多数	原案可決
37	平成31年度十日町市介護保険特別会計予算	予算審査特別	賛成多数	原案可決
38	平成31年度十日町市簡易水道事業特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
39	平成31年度十日町市下水道事業特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
40	平成31年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
41	平成31年度十日町市水道事業会計予算	予算審査特別	全員賛成	原案可決
42	十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
43	十日町市農村総合広場条例を廃止する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
44	平成30年度十日町市一般会計補正予算（第7号）	—	全員賛成	原案可決
45	平成30年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	—	全員賛成	原案可決
46	平成30年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第5号）	—	全員賛成	原案可決
47	平成30年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
議会 提出 議案	1 閉会中の継続調査の申し出	—	全員賛成	原案可決
	2 議員派遣（北信越市議会議長会）	—	全員賛成	原案可決

継続審査

8	十日町情報館条例の一部を改正する条例制定	総務文教	継続審査
21	十日町市出生祝金支給に関する条例を廃止する条例制定	厚生	継続審査

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
 ※庭野政義議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成 (起立)	反対 (着席)	いしづえ 礎					自由の風				だ い ち				さん し かい 三 矢 会				日本共産党 十日町市議団				さ く ら			
				小林弘樹	福岡哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻誠	吉村重敏	根津年夫	山口康司	太田祐子	小林正夫	小野嶋哲雄	樋口利明	村山達也	小林均	星名大輔	鈴木一郎	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢繁	遠田延雄	高橋俊一	大嶋由紀子	庭野政義	
6	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※			
23	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※		
33	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※			
36	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※			
37	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	※			



総務文教常任委員会での採決

情報館諸室の閉館時刻を午後9時30分から午後7時へ早める条例改正案が継続審査となりました。当局からは、利用が少ないこと。分じろう、総合体育館などの近隣類似施設の利用が可能なこと。情報館の空調設備は1室使用でも全館の空調を稼働しなければならぬ等の提案説明がありました。

総務文教常任委員会（委員長・藤巻誠議員）の審査の中で、「利用者の増加策・PRは行っているのか」「社会教育における情報館の意義を理解しているか」などの質疑や意見があり、継続審査について、委員会は全員賛成。本会議も全員賛成でした。



十日町情報館条例の一部を改正する条例制定（案）

● 議会をPick-Up!

3月定例会

平成31年 第1回定例会

会期 3月1日～18日（18日間）

審議結果は前ページに掲載、
予算審査はP6・P7を参照。



十日町市出生祝金支給に関する条例を廃止する条例制定（案）

3人目の子どもから5万円を支給している出生祝金を廃止する条例案が継続審査となりました。

当局から、18歳までの入院費無償化や保育料軽減など多様化するニーズにさらなる対応をするため、総合的に考えての提案であるとの説明がありました。

厚生常任委員会（委員

長・太田祐子議員）の審査の中で、保育料軽減など県内トップクラスの子育て支援策を評価する一方で、「1人目から祝う取組みが必要」「若い世代がもう1人と思う子育て環境が必要」などの意見があり、継続審査について、委員会は全員賛成。本会議は賛成多数でした。

表紙写真について

今号の表紙は、議会だより編集委員会の委員が取材した60人の方から登場していただきました。取材にご協力いただきありがとうございました。



議会だより編集委員会

5月14日(火) 臨時会開催

6月定例会の予定

6月中旬からです。詳しい日程は6月初旬の議会運営委員会で決まります。決まりしだい市のホームページでお知らせします。

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp

◆ 新市合併から議会だよりが60号、議員定数は40人が24人となりました。今後も情報発信に努めます。（小林正夫）

◆ 60人の市民の思いを掲載しました。これからも十日町市で暮らしていくために市政に取り組みます。（水落静子）

◆ 編集委員として貴重な体験をさせていただきました。見やすく読みやすい議会だよりを目指します。（山口康司）

◆ 取材を通して、議員は市民の代弁者であることを改めて心に刻みました。要望実現にがんばります。（滝沢 繁）

◆ 私自身、今回の特集取材を通して、議員としての基本の「キ」を再認識させてもらいました。感謝。（富井高志）

◆ 議員になり2年、改めて議員・議会の重要性を感じています。これからも開かれた議会を目指します。（根津年夫）

あとがき